

明治大学出身・日本初の女性弁護士

みぶちよしこ 三淵嘉子



2024年度前期 連続テレビ小説

『虎に翼』主人公モデル

三淵嘉子略年譜【1914～1984】

- 1932(昭和7)年 東京女子高等師範学校附属高等女学校卒業
- 1935(昭和10)年 明治大学専門部女子部卒業
- 1938(昭和13)年 明治大学法学部卒業
高等文官試験司法科試験合格
弁護士登録
- 1940(昭和15)年 (第二東京弁護士会所属、日本初の女性弁護士)
明治大学専門部女子部助手
(明治大学では1972年まで教員を務める)
- 1941(昭和16)年 和田芳夫と結婚(芳夫は、1946年に戦病死)
- 1949(昭和24)年 東京地方裁判所民事部判事補
(日本で2番目の女性裁判官)
- 1956(昭和31)年 三淵乾太郎と結婚
- 1972(昭和47)年 新潟家庭裁判所所長に就任
(日本初の女性裁判所所長)

大学史資料センターホームページでコラム公開中！！

■三淵嘉子

NHKの連続テレビ小説(朝ドラ)の主人公のモデルとなった女子部出身の裁判官

■相続放棄に関する三淵嘉子論文

村上一博(明治大学史資料センター所長・法学部教授)



Center For the History of Meiji University
明治大学史資料センター

目で見る 明治大学の歩み

明治大学史
資料センター



#93

明治大学は女性法曹養成のパイオニア

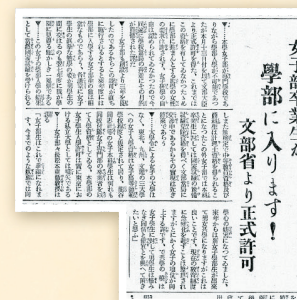
1940(昭和15)年に誕生した日本初の女性弁護士、久米愛・中田正子・三淵嘉子の3名は、いずれも本学出身です。この快挙の背景には、本学がいち早く女性が法学を学べる環境と高等文官試験受験の機会を準備したこと、また法曹を志す女子学生たちの類まれな努力があったことを指摘できます。今回は、女性法曹養成のパイオニアとしての本学と、三淵嘉子の略歴を紹介します。

明治大学史資料センター 阿部 裕樹

1931年

女子部卒業生の学部 入学許可

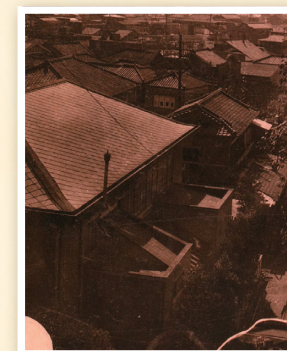
女子部卒業生の学部入学認可を伝える「駿台新報」(1931年4月)学部に入学生は、現在の司法試験にあたる高等文官試験司法科試験を受験できるようになりました。



1929年

専門部 女子部設置

女子部校舎(1930年代)専門部女子部は1929(昭和4)年に設置され、校舎は新築されました(敷地は現在の猿樂町校舎の一部)。

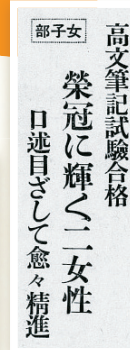


1938年

高等文官試験合格



久米愛・三淵嘉子の高等文官試験司法科試験の筆記試験合格を伝える「駿台新報」(1938年9月)中田正子は前年の試験で筆記試験を合格しており、3名はこの後実施の口述試験にも合格しました。



1950年

短期大学発足

短期大学校舎(1960年ごろ)女子部は、1944(昭和19)年に明治女子専門学校に改組され、さらに1950(昭和25)年には明治大学短期大学に生まれ変わりました(2006年閉学)。写真の校舎は1942(昭和17)年に竣工した当時の女子部校舎を継承しました(敷地は現在のアカデミーコモンの一部)。

